

性暴力サバイバーフォトプロジェクト

STAND & STAND Still 写真展

Picture This Japan presents・Directed by Nobuko Oyabu

東京都
人権プラザ
企画展



2020年

1月18日(土)~3月28日(土)

9:30~17:30 日曜日・休館(祝日・開館)

Photo from Project STAND:性暴力サバイバー達©2003 Nobuko Oyabu

- 入場 : 無 料
- 会場 : 東京都人権プラザ 1階 企画展示室
- 主催 : 東京都人権プラザ (指定管理者:公益財団法人
東京都人権啓発センター)
- 協力 : Picture This Japan  Picture This Japan
We picture a better future



STAND Still 「私には光が見える」
Photo by マツユキソウ©2019

STAND 性暴力サバイバー達

オリジナルタイトル「STAND: Faces of Rape & Sexual Abuse Survivors」は、アメリカの新聞社で勤務していたフォトジャーナリスト大藪順子（おおやぶのぶこ）が突然襲ったレイプ事件が発端で始まりました。

自身の心の回復の中で受けた支援と、出会った人々の協力により、アメリカ・カナダ・日本で合計約80人のサバイバーを取材撮影。2002年の発表後、アメリカのテレビドキュメンタリーとなって大きな反響を呼び、全米各地で展示されました。2007年より日本各地でも展示されてきました。

このプロジェクトに参加したサバイバーのほとんどは、カメラの前に佇むことしかできなかったけれど、彼女等の写真は、性暴力とは何か、実は身近にある暴力であり、深刻な犯罪であることに気づかせてくれます。同時に、性暴力に限らず、辛かった過去と向き合う勇気を与えてくれるでしょう。



STAND Still 性暴力サバイバー ビジュアルボイス

#MeTooムーブメントは、水面下にいる多くのサバイバーに勇気を与えてくれました。それでも、公に#MeTooが言えない人は、数えきれないほど存在します。

「STAND Still」は「STAND」の第二弾として、大藪が撮るのではなく講師として携わり、公に声を上げられない、または上げないことを選択したサバイバー自身が、安全に思いを表現できる場作りとしての取り組みです。

タイトル「STAND Still」とは、時として佇むことしかできないサバイバーや、性暴力を取り巻く社会的変化を静かに見つめているサバイバーを表しています。

公募で集まった8人のサバイバーが、6回のワークショップの中で、思いを写すことに取り組み、写真に秘めた思いを語り合いながら作品を作りました。

がんばって声を上げなくても、被害者の権利が守られる社会になってほしいと願っています。

● ファシリテーター 大藪順子（おおやぶのぶこ）

フォトジャーナリスト。アメリカ・シカゴのコロンビア大学卒業。その後アメリカ中西部の新聞社で働く傍ら、全米各地と日本で約80人の性暴力被害者を取材撮影したプロジェクト「STAND: 性暴力サバイバー達」がテレビドキュメンタリーとなって反響を呼び、全米各地で写真展と講演を展開。2006年より日本各地でも写真展と講演会を通して被害者支援のために活動が続ける。1996-2002年全米報道フォトグラファー協会より数々受賞。2002年ワシントンDCよりビジョナリーアワード、2008年よりジャーナリスト賞、2011年コロンビア大学より卒業生賞受賞。2007年著書「STANDー立ち上がる選択」出版。2018年より団体Picture This Japanを立ち上げ、社会的弱者といわれる人たちが自ら思いを写すことを通して自身と向き合い、声を見いだすためのフォトプロジェクトの企画・運営を行う。



STAND&STAND Still ギャラリートーク

1月25日(土) 14:00～16:00 講師: 大藪順子他

性暴力サバイバーの「取材撮影」から「サバイバー自身が撮るプロジェクト」へのシフトで何が見えるのか、またそれは何を意味するのでしょうか。

ビジュアル情報から考えるメディア倫理と私たち

2月14日(金) 19:00～21:00 講師: 大藪順子他

メディアがサバイバーの取材をする際、性暴力被害の当事者に対する偏見やステレオタイプが影響し、図らずも当事者を傷つけてしまうことがあります。メディア関係者と被害当事者との対話を通して先入観を助長させないメディアのあり方やメディアが伝える情報の見極め方について考えます。

女性たちのモノローグ: わたしがわたしであるために(朗読会)

3月7日(土) 14:00～16:00 出演: 大藪順子他

『STANDー立ち上がる選択』(大藪順子著)をはじめ、様々な女性作家の自伝やエッセイを著者等が朗読します。

会場: 東京都人権プラザ
セミナールーム

定員: 80名(要申込・先着順)

申込方法: 下記問い合わせ記載の
電話・FAX・Eメールのいずれか
(氏名、受講票送付先、人数)

入場: 無料

託児: 無料・要申込み
(締め切りは各回開催日の3日前)

手話通訳: あり
(その他の情報保障は要問合せ)



● アクセス

- ・都営三田線
- ・都営浅草線/大江戸線
- ・JR・東京モノレール

「芝公園駅」 A1出口から徒歩3分(エレベーターはA3出口)
「大門駅」 A3出口から徒歩7分(エレベーターはA1出口)
「浜松町駅」 金杉橋口から徒歩8分
(エレベーターの利用は改札で駅係員にお尋ねください)

※身体障害者の方や、公共交通機関の利用が難しい方の専用駐車スペースをご用意していますので、事前にご連絡ください。

● お問い合わせ 東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1・2F
TEL: 03-6722-0123 FAX: 03-6722-0084
Mail: tenji@tokyo-jinken.or.jp URL: https://www.tokyo-hrp.jp/